

未来に向けて 坂井市の“今”伝える 新映像コンテンツ「メモリーの四季巡り」完成 ～VTuber響絵 想が案内する福井県坂井市～

坂井市の魅力を発信する坂井エキサイト大使、VTuberの響絵 想（ひびきえ めもりー）さんが出演する、坂井市の四季折々の魅力を伝える映像コンテンツ「メモリーの四季巡り」が完成しました。動画は、3月4日より響絵さんのYouTubeチャンネルで公開されます。制作はメモリネイター株式会社が手がけました。



坂井市の春夏秋冬の美しい風景や名所を、響絵さんがクイズ形式で紹介。視聴者が楽しみながら坂井市の自然や文化を学べる内容となっています。



URL : https://www.youtube.com/watch?v=4S_GG9J0ms0

◆コンセプト

「30XX年では、世界から四季が消え、人々の心から季節の概念が薄れつつある」という架空の設定のもと、2025年の坂井市の魅力を未来に伝えることをコンセプトに制作しました。坂井市には、日本を代表する桜の名所や色とりどりのユリが咲き誇るゆりの里公園、迫力満点の三国花火大会、幻想的な雪景色など、一年を通して楽しめるスポットやイベントが数多く存在します。しかし、未来ではその景色がいつまでも残っているかは分かりません。もしかしたら、失われてしまっているかもしれません。

坂井市の現在の街並み、自然や文化といった魅力を今を生きる人々に伝えたいという思いから制作されたこのプロジェクトは、観光促進や地域活性化を目的としています。

◆響絵 想さんからのコメント

こんめもりー！坂井エキサイト大使VTuberの響絵想だよ！

みんなはもう知ってるかな？坂井市って、春夏秋冬ぜんぶがギュッと詰まったすっごく素敵な場所なんだ！桜が満開の春、太陽の下でキラキラ輝く夏、カラフルな紅葉が広がる秋、一面の雪が幻想的な冬……どの季節も魅力たっぷり！

未来の世界では四季がなくなっちゃったってウワサだけど、本当にそうなくなっちゃうのかな？だからこそ、今の坂井市の四季の美しさを、みんなにしっかり伝えたくて、この動画を作ったんだよ！

映像を観ながら、一緒に四季を旅してみない？クイズにも挑戦して、坂井市マスターになっちゃおう！

未来でこの景色を見られるかわからないからこそ、今この瞬間を楽しんでね！



響絵 想さん…

2024年6月4日にVTuberとして活動を開始するとともに、坂井エキサイト大使に就任。うさねこメモリー所属で、出身はバーチャル坂井市。自身のYouTubeチャンネルで投稿した坂井市のショート動画は50本以上。現在フォロワー数は2万人を超えている。

◆坂井エキサイト大使とは



▲坂井エキサイト大使ロゴ

訪れた者をワクワクさせる観光地、食べた者を興奮させる魅力的な特産品、アウトドアを存分に楽しめる海や山などの豊かな自然環境、知的好奇心を刺激する歴史・文化など、坂井市が誇るエキサイトな資源をPRする役割を担います。任命するのは市ゆかりの著名人らで、2023年4月に俳優・モデルの高橋愛さん、動画クリエイターの福井のカズさん、24年6月にVTuberの響絵想さんが加わりました。

注) エキサイト：(～を) ワクワクさせる、興奮させる、楽しませる、刺激する など

本件に関するお問い合わせ先

福井県坂井市総合政策部 移住定住推進課

TEL : 0776-50-3034(平日8:30~17:15)

MAIL : iju@city.fukui-sakai.lg.jp

【参考情報】

坂井市には、他にも福井県が誇る観光地や食が多数あります。その一部を下記にてご紹介いたします。

<自然>

越前加賀海岸国定公園に含まれる越前松島などの美しい海岸線、九頭竜川や竹田川、市東部の森林地域、福井県一の米どころを支える広大な田園など、豊かで美しい「海・山・川」の自然に恵まれています。

■ 東尋坊

断崖に日本海の荒波が打ち寄せる景色で知られる国の天然記念物・名勝東尋坊。約 1 キロメートルにわたり豪快な岩壁が広がっています。このような輝石安山岩の柱状節理が広範囲にあるのは、世界に 3 か所ともいわれ、地質学的にも大変貴重な場所です。初夏のまばゆいばかりに広がる青い空と日本海、秋の頃の日本海に太陽が沈み行く夕景、雪が舞う頃の荒々しい波と吹きつける寒風。どれも東尋坊と日本海の大自然が見せてくれる、四季折々の素晴らしい風景です。



■ 越前松島

東尋坊と同じ柱状節理の岩が織り成す景観の中、一風変わった岩が点在するほか、散策路を辿ると小島に渡ることができたり洞穴を覗くこともできます。越前松島水族館や宿泊施設が隣接し、家族連れや遠足でにぎわう観光地となっています。



<観光地>

日本屈指の景勝地である東尋坊、三国サンセットビーチを中心とする海岸、北前船交易で栄えた三国湊、現存 12 天守の丸岡城をはじめとする歴史資源があります。

■ 三国湊

三国湊は、福井県一の大河「九頭竜川」の河口に位置します。千年以上昔の文献にも「三国」という地名の記述があるほど昔から栄え、歴史がある町です。北前船が残していった歴史・文化はもちろんのこと、格子戸が連なる町家、豪商の面影が残る歴史的建造物など、情緒ある町並みが残ります。



■ 丸岡城

丸岡城は別名霞ヶ城とも呼ばれ、平野の独立丘陵を利用してつくられた平山城です。春の満開の桜の中に浮かぶ姿は幻想的で、ひととき美しいものとなっています。戦国時代の天正 4 年(1576 年)一向一揆の備えとして、織田信長の命を受けて柴田勝家の甥・勝豊が築きました。標高 27m の独立丘陵を本丸として天守を築き、その周囲に二の丸と内堀、その外側に三の丸と外堀を巡らせていました。

丸岡城天守は、江戸時代以前に建てられ当時の姿で現在まで残っている現存 12 天守の 1 つです。昭和 23 年の福井地震により石垣もろとも完全に倒壊しましたが、天守の材料や石垣などの主要部材の多くを再利用して昭和 30 年に修復修理されました。

現存 12 天守の中で、完全に倒壊した状況から修復された天守は唯一丸岡城天守のみです。現在立ち続けている古式の風格のある姿は、消滅の危機という困難な道のりを経ても立ち上がり復興してきた証であり、その歴史は他にはない波乱の運命を歩んだものです。



■ 雄島

その自然は未だかつて人の手が加えられていない神の島。

伝説のある島全体は自然豊かな散策路としても親しまれています。島の奥には大湊神社がたたずみ、毎年 4 月 20 日は地区住民による大湊神社の例祭が行われます。



<食>

福井県における冬の味覚の代表である「越前がに」をはじめとする水産物、そば、らっきょうなどの農産物、山菜、油揚げ、若狭牛など、食を活かした観光が魅力です。

■ 越前がに

毎年皇室へ献上される事でも有名な三国町の「越前がに」は、身は殻の中によく詰まっています。甘く繊維が締まっており、数に限りがあるため、特に珍重されています。



■ 甘えび

甘えびは、越前がにと並んで人気の高い日本海の珍味。三国漁港にも透き通るような紅色をした、たくさんの新鮮な甘えびが並んでいます。



■ 丸岡産おろしそば

坂井市は県内 1・2 を誇るそばの産地で、特に丸岡産のそば粉で作ったおろしそばは香り高く、風味が強い飽きない仕上がりとなっています。



<文化・伝統>

ファッションなどのブランドネームや品質表示などの織ネーム、国内第 1 位のシェアを占めるマジックテープなど伝統的な技術産業が盛んです。

■ 越前織：ネームタグ

丸岡は織物の一大産地で、ワッペンやスポーツ用ネームとして用いられる「織ネーム」は需要が高まっており、また、コンピュータで図柄処理し織物として描画する「越前織」も観光の土産等向けに作っています。主要製品は洋服に施すネームタグで、国内シェア 7 割を誇ります。



■ 一筆啓上 日本一短い手紙の館

丸岡町ゆかりの徳川家康の忠臣本多作左衛門重次が陣中から妻に宛てた短い手紙「一筆啓上 火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」（「お仙」とは後の越前丸岡城主 本多成重（幼名 仙千代））の碑が丸岡城にあります。この碑をヒントに日本で一番短い手紙文を再現し、手紙文化の復権を目指そうということで、平成 5 年から毎年テーマを定めて「一筆啓上賞」として作品を募集し、平成 15 年から「新一筆啓上賞」として、日本全国、海外から応募が寄せられています。

